広報 みなと

港区平和青年団事業特集号

平成23年（2011年）11.21
☎3578-2111㈹
FAX 3578-2976（人権・男女平等参画担当）
http://www.city.minato.tokyo.jp

平和の尊さを次世代に

区は、昭和60（1985）年8月15日、平和都市宣言を行い、その理念に基づき、平和の碑の設置や、戦争の悲惨さを訴える写真等を展示する「平和展」の開催、各国の核実験に対する抗議、核兵器の廃絶に向けて世界の都市が連携する「平和市長会議」への加盟等、さまざまな平和への取り組みを行っています。

このような取り組みの一環として、区内在住・在学・在勤の高校生世代を対象に、港区平和青年団事業を、昭和61（1986）年から実施しています。

団員は、平和の尊さについて学び、次世代に引き継ぐ意欲の高い高校生を毎年公募し、被爆地長崎への派遣研修を中心に、区のさまざまな平和事業にも参加しています。

また、活動の締めくくりとして、年度末に「港区平和青年団活動報告会」を開催しています。

平和祈念像

長崎平和公園「平和の泉」前

活動しています港区平和青年団

長崎派遣研修

8月8日（月）～10日（水）
3日間の現地研修のため、長崎に行きました。

8月8日㊊（1日目）　高校生平和大使との交流・青少年ピースフォーラム①・平和の灯（ともしび）事業

長崎市到着後、高校生平和大使（国連等を訪問し、核兵器の廃絶や平和の願いを訴える高校生）2人との懇談会を開催し、世界での平和活動の話に刺激を受けました。午後は、平和会館ホールで1日目の青少年ピースフォーラム（全国の自治体が派遣する平和使節団と長崎の青少年が、被爆の実相や平和の尊さを学習し交流する）に参加しました。また、日没後に平和公園内「平和の泉」において、平和の灯（ともしび）事業に参加し、約5000個の手作りキャンドルの見学や平和コンサートを聴き、平和への願いを一層強めました。

青少年ピースフォーラムに参加

高校生平和大使（前列左から3・4人目）との懇談会を終え

団員の感想　志賀アリカさん

青少年ピースフォーラムでは、被爆者の皆さんの体験話や参加型平和学習を通じ、原爆がどういうものであったか、なぜ原爆が落とされたのか、戦争がどんなものか、改めて学びました。教科書や本、インターネット等で学び、戦争や原爆に触れてきたつもりでしたが、現地で聞く当事者からの話となると感じられるものが、また別にあるように思えました。

8月9日㊋（2日目）　平和祈念式典・青少年ピースフォーラム②・フィールドワーク①

長崎平和公園前

午前、平和公園で開催された平和祈念式典に参列しました。式典では、原爆死没者名奉安、平和宣言等が読み上げられ厳粛な雰囲気を肌で感じました。午後は、原爆資料館会議室で2日目の青少年ピースフォーラムに参加し、「核兵器のない平和な社会をつくっていくために私たちにできること」をテーマに、意見交換を行いました。終了後、ガイドの案内で、原爆資料館を見学しました。最後に、国宝の「大浦天主堂」等のフィールドワークを行いました。

意見交換を行う

団員の感想　香川えり子さん

平和祈念式典では、献花や黙とう、平和宣言等の内容でした。今年は、原発問題があり、各々のスピーチで「脱原発」という言葉が含まれていました。司会や合唱に中高生が関わっていたことを知り、自分も頑張ろうと思いました。青少年ピースフォーラムでは、全国から参加したメンバーとテーマにそって意見を出し合いました。戦争の悲惨さ等を後世に伝えていくことの難しさを改めて気付かされました。

8月10日㊌（3日目）　フィールドワーク②

山王神社「一本柱鳥居」

山里小学校・防空壕

午前、山王神社（一本柱鳥居）～浦上天主堂～永井隆記念館（如己堂）～山里小学校（防空壕見学）～原爆落下中心地等を、意欲的にフィールドワークを行いました。

原爆落下中心地

団員の感想　荒木一也さん

フィールドワークでは、山王神社の一本柱鳥居を見ることができ、原子爆弾の恐ろしさを物語っていて、後世にも語り継いでいくべきだと思いました。また、永井隆記念館で永井さんの生涯について学ぶことができました。永井さん自身も原爆の後遺症に悩まされながらも、被爆者のために尽力した人生を送られて、尊敬し見習うべき人だと思いました。

発行／港区　発行部数120,000部　編集／総務部人権・男女平等参画担当　〒105-8511　港区芝公園1-5-25

平和についての学習・区の事業への参加

6月4日(土)　「第6回ふれ愛まつりだ、芝地区」に参加

港区立芝公園で「第6回ふれ愛まつりだ、芝地区」の第2部「ジ・アース&ピースコンサート」に参加しました。冒頭で団員が「港区平和都市宣言」および広島市、八女市、長崎市の各市長から届いた平和メッセージを読み上げて平和への誓いを新たにしました。

団員の感想　糸洲亜沙美さん

港区平和青年団として初めての活動であったため、最初は緊張しましたが、司会者に紹介され舞台に上がった時は、頑張ろうと思いました。役割である「港区平和都市宣言」や広島市・八女市・長崎市の平和メッセージを紹介させていただいた時は、これから一生懸命活動していこうと思いました。

6月12日(日)　都立第五福竜丸展示館視察（長崎派遣事前研修）

江東区夢の島にある都立第五福竜丸展示館の視察に行きました。木造のマグロ漁船は、昭和29（1954）年3月1日に太平洋のマーシャル諸島にあるビキニ環礁でアメリカが行った水爆実験によって被害を受けました。元第五福竜丸の乗組員にお話を聞き、あらためて放射能等に対する知識を深めるとともに、「死の灰」の恐ろしさを感じました。

団員の感想　栗林桃伽さん

展示物には、乗組員を被爆させた死の灰や航海日記等、当時の悲惨さを物語る展示がされていました。その中にある乗組員の子どもが書いた手紙が、被爆した父親の回復を願うものですごく心を打たれました。この事件は、乗組員だけではなく、その家族や周囲の人たちの心までも傷付けるものだと思いました。

6月26日(日)　平和関連施設フィールドワーク（長崎派遣事前研修）

千代田区九段にある「昭和館」「遊就館」「千鳥が淵戦没者墓苑」を見学しました。

●昭和館

戦没者遺族をはじめとする国民が経験した戦中・戦後（昭和10年頃から30年頃まで）の生活に関わる歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、労苦を後の世代に伝える国立の施設です。団員は、係員の案内のもと、衣食住に関する展示品を熱心に観察し、「体験ひろば」では、生活用品や衣服等を実際に手に取り、改めて昭和の歴史を感じました。

団員の感想　窪田知冴さん

昭和館では、戦争について学び、実際に防空壕の体験をした時は、とても怖かったです。食料の配給制度については、戦争が終わる頃、全く食べ物が無くなり、闇市で着物を売ったりして、生活している人がたくさんいた事にすごく驚きました。

●靖国神社・遊就館

戦死者の遺品や戦跡収拾品をはじめ、多くの写真パネルが展示してあり、平和青年団は、過去のさまざまな戦争の10万点にもおよぶ展示品を見学し、強い印象を受けました。

団員の感想　岡野　麗さん

遊就館では、戦争で使われていた飛行機のモデル等も展示されていて、学ぶことがたくさんありました。また、戦争で亡くなった人の写真が壁に飾られていて、その写真の多さに驚きました。しかし、その写真は、軍隊の人ばかりだったので、一般人を合わせると、さらにたくさんの人が亡くなっているんだなと思い、とても悲しくなりました。

●千鳥が淵戦没者墓苑

この墓苑は、昭和34年3月竣工したもので、先の大戦において、海外で亡くなった軍人等240万人の戦没者の遺骨のうち、政府等が外地から持ち帰り、遺族にお渡しできなかった35万8269柱（平成22年5月現在）の遺骨を納めている国の施設です。団員は、尊い命を亡くされた皆さんのご冥福を祈り参拝しました。

団員の感想　角田麻奈さん

亡くなった兵隊の気持ち、その家族の事を思うと涙が出てきました。とても身が引き締まりました。

港区平和青年団紹介

港区平和青年団長
港区青少年委員副会長　西尾　健さん

港区平和青年団の団長として団員の研修がより効果あるものになるように支援やアドバイスをすることを心掛けています。団員は、長崎派遣での自主研修として被爆地訪問を行う等、とても意欲的に研修に取り組んだため、3日間の行程では時間が足りないようでした。若い団員には、それぞれが感じたことや学んで気付いたことを友人や後輩や身近な皆さんに伝え、平和について考えるきっかけをより多く作ってほしいと思っています。

糸洲亜沙美さん

岡野　麗さん

栗林　桃伽さん

香川えり子さん

荒木　一也さん

窪田　知冴さん

志賀アリカさん

角田　麻奈さん

8月15日(月)、10月9日(日)　区の事業を通した平和活動

●港区平和都市宣言記念朗読会「声に出す平和への祈り」

8月15日（月）、高輪区民センターホールで行われた港区平和都市宣言記念朗読会に参加しました。腹話術人形を用いた広島の原爆体験や、東京大空襲等についての朗読、被爆エノキから作られたコカリナの演奏を聴きました。

最後に献読（戦争で亡くなった皆さんの名前や短い文を読み上げて祈りを捧げるもの）を行い、戦死者へ祈りを捧げました。

●みなと区民まつりへの参加

10月9日（日）、区立芝公園内、平和の灯周辺で「平和の灯」のリーフレットを配布しました。平和の灯は、広島市の「平和の灯」、八女市の「平和の火」、長崎市の「ナガサキ誓いの火」を合わせたもので、戦争の悲惨さと平和への尊さを後世に伝えていくために「平和の灯」がともされています。

平成23年度　港区平和青年団活動報告会

●日時　平成24年3月18日（日）午後2時～4時（予定）
●会場　男女平等参画センター（芝浦3−1−47）

都内の平和関連施設や長崎派遣研修で学んだ原爆の被害や平和への取り組み等について、1年間の成果を発表します。多くの皆さんと平和についてともに考え、この経験を語り次いでいきたいと思っています。

ぜひ、港区平和青年団の活動報告会に多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

問い合わせ　人権・男女平等参画担当　☎内線2014

港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この広報紙は、古紙を利用した再生紙を使用しています。